

保証書

品名：Toffy ホームエスプレッソマシン K-CM3 保証期間：本体お買い上げ日より1年

お買い上げ日： 年 月 日

お客様： お名前 ご住所 電話番号	販売店名：
----------------------------	-------

販売店様へお願い 保証書の空欄部分に販売店名、お買い上げ年月日をご記入くださいますようお願いいたします。

保証規定

1. ユーザーズガイドの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご連絡ください。当社が無償にて修理いたします。
2. ご転居やご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、本書記載のお客様ご相談窓口へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや、お客様による修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雪その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書の提示が無い場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 - (ト) 本体および本体同梱付属品の消耗・摩耗・損傷・紛失
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理のお約束をするものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

<アフターサービスについて>

■保証書：保証書は、販売店名・お買い上げ年月日などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。また、保証規定の内容をよくご覧の上、大切に保管してください。

■修理に出されるときは：保証期間中は、保証書に記載されている項目について、無償で修理いたします。ただし、本書に記載の、安全および使用に関する注意事項を無視した上での故障や破損、分解・改造を加えた場合などは、有償となる場合があります。また、保証期間を過ぎた場合も有償での修理となります。修理内容は修理伝票等で代替する場合があります。

■廃棄について：本製品および梱包材の廃棄方法については、各自治体の指示に従って行ってください。

■お問い合わせ：アフターサービスについてご不明な点やご相談お困りのときは、お買い上げいただいた販売店またはお客様ご相談窓口までお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

お客様ご相談窓口 0570-024-389（※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。）

受付時間 10:00～18:00（土・日・祝日を除く）

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

●個人情報のお取り扱いについて

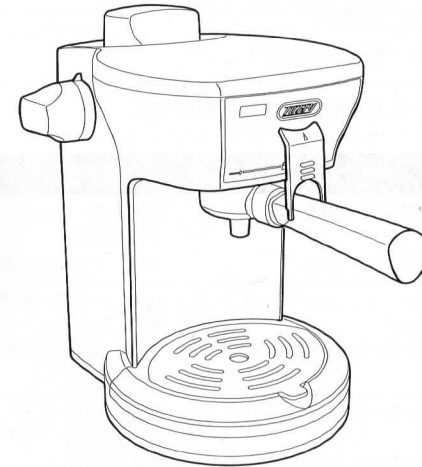
株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

■発売元 株式会社ラドンナ 〒135-0031 東京都江東区佐賀 1-5-9 永代 MK ビル <http://ladonna-co.net/>

本書の内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。

2017-01

TOFFY ホームエスプレッソマシン 家庭用



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

目次

安全上のご注意.....	2
各部の名称、付属品.....	4
はじめてご使用になる前に.....	5
エスプレッソの抽出方法.....	7
カプチーノの抽出方法.....	9
使い終わったら.....	11
お手入れ.....	12
故障かな?と思ったら.....	14
製品仕様.....	15
保証書/保証規定.....	16

安全上のご注意 必ずお読みください

必ずお守りください。(安全にお使いいただくために)

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

表示は、してはいけない「禁止」内容です。
表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

警告

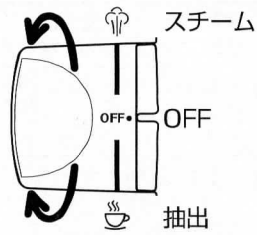
分解、修理や改造を絶対に行わないでください。 発熱・感電・けがの原因となります。	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電・けがの原因となります。
子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。 感電・けが・やけどの原因となります。	電源コードや電源プラグがいたんでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・火災の原因となります。
本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさないでください。 ショート・感電・火災の原因となります。	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
使用中、または使用直後には、湯出口、スチームノズルに触ったり、手や顔を近づけないでください。 けが・やけどの原因となります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。	電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むとショート・火災の原因となります。
「給水タンクふた」、「フィルターホルダー」、「フィルター」、「ステンレスピッチャー」、「ステンレスピッチャーふた」なしで使用しないでください。 けが・やけど・故障の原因となります。	交流 100V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。 他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。
落としたり、衝撃を加えたりしないでください。 感電・故障の原因となります。	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用をしないでください。 火災・感電の原因となります。

注意

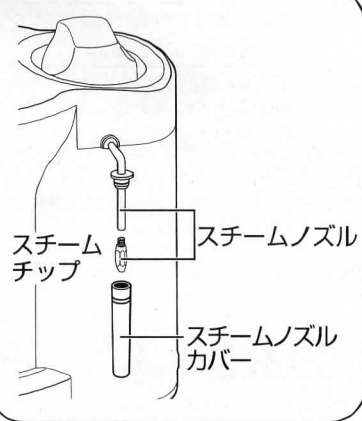
本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。 火災・故障の原因となります。	約 350ml 以上水を入れしないでください。 故障・やけどの原因となります。
使用中は本体から離れないでください。 火災の原因となります。	空だきをしないでください。 故障・火災の原因となります。
毛足の長い絨毯など不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わないでください。 故障・やけどの原因となります。	持ち運びやお手入れ、保管するときは本体が冷めてから行ってください。 火災・やけどの原因となります。
壁や家具の近くでは使わないでください。 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。	ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。 本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。
水以外のものを入れたり、沸かししたりしないでください。 牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因となります。	
使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れないでください。 高温のため、やけどの原因となります。	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。
本体を使用中に移動させないでください。 やけど・けがの原因となります。	続けてエスプレッソをドリップする場合は、操作ダイヤルを OFF (OFF 位置) にし、5 分以上休ませた後で再びドリップしてください。 本体が熱いうちに給水タンクを開けたり、水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出して、けが・やけどの原因となります。
ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばでは使わないでください。 火災・変形・故障の原因となります。	
水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わないでください。 ショート・感電・故障の原因となります。	

各部の名称

操作ダイヤル



右側面



給水タンクふた

給水タンク

操作ダイヤル

湯出口

電源プラグ

電源コード

カップ受け
(取り外し可)

トレイ
(取り外し可)

プレッサー

計量スプーン

表示灯

コーヒー粉の目盛り

フィルター

フィルター止め

取っ手

フィルターホルダー

レンチ

付属品

次の付属品がそろっているか確認してください。

- ステンレスピッチャー (ふた付き) 1個
- 計量スプーン (すりきり一杯 約 8g) 1本



はじめてご使用になる前に

■ 本体内部の洗浄方法

本製品をはじめてお使いになるときは、下記の洗浄方法で本体内部を洗浄してください。
長期間ご使用にならなかった場合も同様のお手入れをしてください。

⚠ 注意 本製品を水に浸けたり、機械の内側に触れないでください。

1. フィルター、フィルターホルダー、付属のステンレスピッチャー、専用のふたを洗ってください

中性洗剤で洗い、それぞれ水で良くすすいでください。

2. 電源 OFF を確認してください

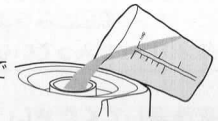
電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

3. 給水タンクに水を入れてください

①給水タンクふたを開けます。

②付属ステンレスピッチャーや市販の計量カップなどで水を 350ml 入れます。

③給水タンクふたを閉めてください。



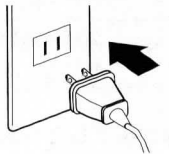
⚠ 警告 給水タンクふたはしっかり閉めてください。やけど・けがの原因となります。

⚠ 注意 給水タンクに水を入れ過ぎないでください。

4. 電源プラグをコンセントに差し込んでください

⚠ 注意

- ・電源プラグを差し込む前に、操作ダイヤルが **OFF** 位置にあることを確認してください。
- ・ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。

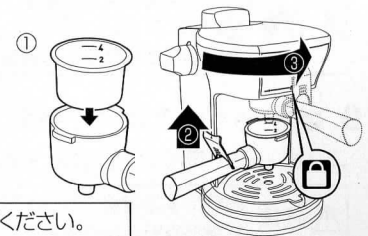


5. 空のフィルターをセットしてください

①フィルターホルダーに空のフィルターをセットしてください。

②フィルターホルダーの取っ手を、右図のように本製品の前面左の湯出口の溝にはまるまで持ち上げてください。

③フィルターホルダーの取っ手を **☑** 位置に来るまで右に回し、しっかり締めてください。



⚠ 警告 フィルターホルダーはしっかりセットして使用してください。やけど・けがの原因となります。

⚠ 注意

- ・**☑** 位置より無理に右側にフィルターホルダーを回さないでください。破損の原因となります。
- ・フィルターホルダーを **☑** 位置に調節する際に、フィルター止めを握らないでください。フィルター止めが破損する原因となります。

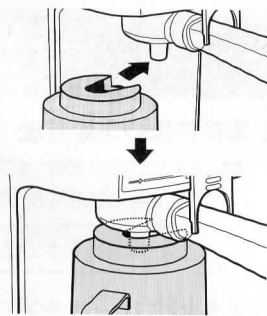
6. 付属のステンレスピッチャーを準備してください

- ① 付属のステンレスピッチャーに専用のふたをしてください。
- ② フィルターホルダーの下に右図のようにセットしてください。

・ステンレスピッチャーを正しい位置にセットしてください。

△ 注意 やけど・けがの原因となります。

・付属のステンレスピッチャーをご使用ください。給水タンクには、最大 350ml まで水が入ります。



7. 給水タンク内を洗浄してください

操作ダイヤルを **ON** 位置に回し、給水タンク内を洗浄（所要時間：約 3 分）します。約 3 分たったら操作ダイヤルを **OFF** 位置に戻してください。

※ スチームノズルを洗浄するには、給水タンクに水が残っている必要があります。必ずスチームノズル洗浄用の水を給水タンク内に残しておいてください。

・給水タンク内に圧力がかかっている状態、または熱が冷めていない状態で、給水タンクふたやフィルターホルダーを外さないでください。

△ 注意 やけど・けがの原因となります。

・給水タンクに水が入っていない状態で、抽出 **ON** しないでください。

8. スチームノズルを洗浄してください

- ① 給水タンク内の洗浄で溜まったステンレスピッチャーのお湯を捨てます。
- ② ステンレスピッチャーに半分程の水を入れ、スチームノズルカバーを取り外し、スチームノズルの先端をステンレスピッチャーの底に浸けます。
- ③ 操作ダイヤルを **ON** 位置にゆっくりと回し、蒸気を抜きます。
- ④ スチームノズルから蒸気が完全に出て圧力が抜けたら、操作ダイヤルを **OFF** 位置に戻します。

△ 注意 蒸気が噴射する勢いで、水が飛び散ることがあります。やけど・けがの原因となりますので、十分ご注意ください。

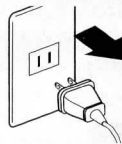
9. 洗浄が終了したらステンレスピッチャーを取ってください

△ 注意 本体が冷めるまで、給水タンクふた、湯出口、フィルターホルダーの金属部分を触らないでください。熱い蒸気が出たり、金属部分が熱を帯びているため、やけど・けがの原因となります。

10. 電源プラグを抜いてください

コンセントから電源プラグを抜きます。

△ 注意 ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。



エスプレッソの抽出方法

■ コーヒー粉、水の量の目安

エスプレッソ	コーヒー粉の量	水の量	出来上がり
2 杯	フィルターの目盛 2 (約 16g)	約 135ml	約 120ml
4 杯	フィルターの目盛 4 (約 24g)	約 255ml	約 240ml

※ コーヒー粉に吸収されるため、エスプレッソの出来上がり量は多少減少します。

※ コーヒー粉の量は好みにより加減してください。

メモ ・コーヒー粉は、エスプレッソ用など深煎りの豆を極細挽きしたものを使用してください。

・はじめてご使用になるときや、長期間使用していなかった場合は本体内部の洗浄を行なってください。(⇒ p5 参照)

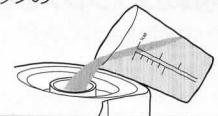
■ エスプレッソの作成手順

1. 電源 OFF を確認してください

電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

2. 給水タンクに水を入れてください

- ① 給水タンクふたを開けます。
- ② 付属ステンレスピッチャーや市販の計量カップなどで抽出するエスプレッソの量に応じた水を入れます。(⇒上の「■ コーヒー粉、水の量の目安」参照)
- ③ 給水タンクふたを閉めてください。



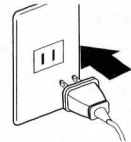
△ 警告 給水タンクふたはしっかり閉めてください。やけど・けがの原因となります。

△ 注意 給水タンクに水を入れ過ぎないでください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください

△ 注意 ・電源プラグを差し込む前に、操作ダイヤルが **OFF** 位置にあることを確認してください。

・ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。

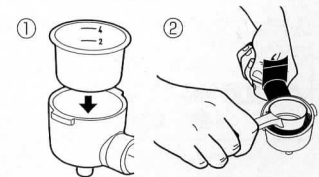


4. 空のフィルターをセットしコーヒー粉を入れてください

- ① フィルターホルダーに空のフィルターをセットします。
- ② セットしたフィルターにコーヒー粉を入れます。給水タンクに入れた水の量に合わせてコーヒー粉を入れてください。(⇒上の「■ コーヒー粉、水の量の目安」参照)
- ③ コーヒー粉を密にするため、計量スプーンのプレッサーで平らに押し固めます。

△ 注意 コーヒー粉をフィルターに入れすぎないでください。詰まったり溢れたりする原因となります。

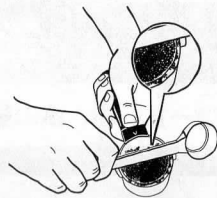
メモ 粉の詰め具合（密度）により、エスプレッソの濃度と抽出時間が異なります。



●ふちに付いた余分なコーヒー粉を取り除いてください

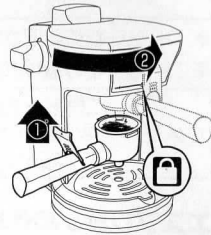
⚠ 注意

余分なコーヒー粉をフィルターホルダーのふちに残さないでください。
余分なコーヒー粉がふちに残っていると、不適正に固定され、漏れや密封部分損傷の原因となります。



5. フィルターホルダーをセットしてください

- ① フィルターホルダーの取っ手を、右図のように本製品の前面左の湯出口の溝にはまるまで持ち上げます。
- ② フィルターホルダーの取っ手を **☑** 位置に来るまで右に回し、しっかりセットしてください。



⚠ 警告

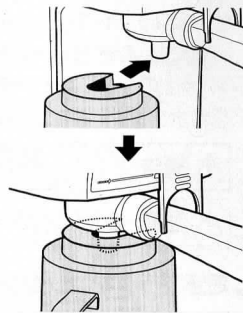
フィルターホルダーはしっかりセットしてから使用してください。
やけど・けがの原因となります。

⚠ 注意

- ・ **☑** 位置より無理に右側にフィルターホルダーを回さないでください。破損の原因となります。
- ・ フィルターホルダーを **☑** 位置に調節する際に、フィルター止めを握らないでください。フィルター止めが破損する原因となります。

6. 付属のステンレスピッチャーを準備してください

- ① 付属のステンレスピッチャーに専用のふたをしてください。
- ② フィルターホルダーの下に右図のようにセットしてください。



⚠ 注意

- ・ ステンレスピッチャーを正しい位置にセットしてください。
- ・ やけど・けがの原因となります。
- ・ 給水タンクには、最大 350ml まで水が入ります。給水タンクに水を入れ過ぎないでください。

7. エスプレッソを抽出してください

操作ダイヤルを **☑** 位置に回すと抽出が始まります（所要時間：3～5分）。
抽出が終わったら、お湯や蒸気が完全に止まってから操作ダイヤルを **OFF** 位置に戻してください。

⚠ 注意

- ・ 給水タンク内に圧力がかかっている状態、または熱が冷めていない状態では、給水タンクふたやフィルターホルダーを絶対に外さないでください。
- ・ ステンレスピッチャーには専用のふたをきちんとセットしてください。抽出したエスプレッソが飛び散り、やけど・けがの原因となります。
- ・ 給水タンクに水が入っていない状態で、抽出 **☑** しないでください。

8. エスプレッソの完成です

ステンレスピッチャーを引き出してエスプレッソをカップに注いでください。

⚠ 注意

- ・ 本体が冷めるまで、給水タンクふた、湯出口、フィルターホルダーの金属部分を触らないでください。
- ・ 熱い蒸気が出たり、金属部分が熱を帯びているため、やけど・けがの原因となります。

カプチーノの抽出方法

■ カプチーノの作成手順

1. エスプレッソを抽出してください

カプチーノ作成で使用するエスプレッソの作成手順は、「エスプレッソの抽出方法」と同じです。
材料と計量の目安は、p7の「■ コーヒー粉、水の量の目安」を参照してください。

⚠ 注意

スチームを発生させるので、水の量はエスプレッソのときより約 70ml 程度多く入れてください。給水タンクに水が入っていない状態で、噴出 **☑**（泡立て）をしないでください。

2. 抽出したエスプレッソをカップに注いでください

カップを用意し、エスプレッソを注いで、ステンレスピッチャーを洗ってください。

3. スチームミルクとフォームミルクを作ってください

① ミルクを用意する

付属のステンレスピッチャーに、約 1/3～1/2 の位置まで冷たいミルクを注ぎます。
※スキムミルクや 2% の低脂肪乳はよく泡立ちます。

⚠ 注意

1/2 以上入れると溢れる場合がありますので、ミルクを入れ過ぎないでください。

② スチームノズルカバーを取り外す

③ スチームミルクを作る

スチームノズルがステンレスピッチャーの底にぎりぎり触れない状態で、操作ダイヤルを **☑** 位置にゆっくりと回すと、スチームノズルから蒸気が噴出します。ステンレスピッチャーを円を描くように回し、スチームミルクを作ります。

※スチームミルクの最適な温度は約 67℃ です。

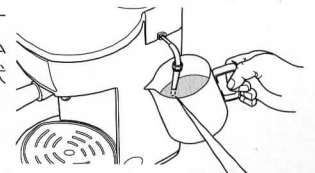
⚠ 注意

給水タンクに水が入っていない状態で、噴出 **☑**（泡立て）をしないでください。

④ フォームミルク（泡）を作る

スチームノズルの先端（スチームチップ）をステンレスピッチャーの端表面ぎりぎりのところに入れ、吹きこぼれない程度にスチームを出します。スチームノズルの周りのミルクが液状からクリーム状に変わってきます。フォームミルクのできあがりです。

※スチームノズルをミルクに入れすぎると、または完全にミルクから出してしまうと、きめ細かい泡が立ちません。



⚠ 注意

蒸気が噴射する勢いで、ミルクが飛び散ることがあります。
やけど・けがの原因となりますので、十分ご注意ください。

⑤ 蒸気を止める

お好みの量の泡ができあがったら、操作ダイヤルを **OFF** 位置に戻して蒸気を止めます。蒸気が止まったら、スチームノズルからステンレスピッチャーを外してください。



メモ スチームノズルは使用直後に湿らせた布でミルクを拭きとってください。

4. スチームミルクを注いでください

- ①エスプレッソと同量のスチームミルクを注ぎます。注ぐ際、スプーンなどで泡をおさえミルクのみを注いでください。
- ②フォームミルク（泡）をスプーンですくいカップに入れてください。

5. カプチーノの完成です

お好みで、砂糖やココアパウダー、シナモンなどを添えてください。

- △ 注意
- ・給水タンク内に圧力がかかっている状態、または熱が冷めていない状態で、給水タンクふたやフィルターホルダーを外さないでください。
 - ・本体が冷めるまで、給水タンクふた、湯出口、フィルターホルダーの金属部分を触らないでください。
 - ・熱い蒸気が出たり、金属部分が熱を帯びているため、やけど・けがの原因となります。

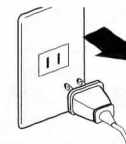
使い終わったら

- △ 注意
- ・そのまま本製品を保管すると、本体の故障や雑菌・カビが繁殖するおそれがあります。雑菌やカビなどの繁殖を防ぐには、ご使用のたびにこまめに清掃することが必要です。
 - ・お手入れの前に必ず電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。
 - ・火災や感電の原因となります。
 - ・使用しないときは、給水タンクに水を入れたままにしないでください。

1. 電源プラグを抜いてください

コンセントから電源プラグを抜いてください。

- △ 注意
- ・ぬれた手で電源プラグを触らないでください。
 - ・感電の原因となります。



2. 蒸気を抜いてください

- ①少量の水を入れたステンレスピッチャーに、スチームノズルの先端を浸けます。
- ②操作ダイヤルを **ON** 位置にゆっくりと回し、蒸気を抜きます。
- ③スチームノズルから蒸気が完全に抜けきったら、操作ダイヤルを **OFF** 位置に戻してください。

- △ 注意
- ・蒸気が噴射する勢いで、水が飛び散ることがあります。
 - ・やけど・けがの原因となりますので、十分ご注意ください。

メモ 蒸気を抜くことで圧力が放出されるとともに、スチームノズル内部が清掃されます。

3. 本体が十分に冷めてから、コーヒー粉を捨ててください

- ①フィルターホルダーの取っ手を **ON** 位置から左側に回して取り外します。
- ②フィルター止めを起こして、フィルターを押さえます。
- ③フィルター止めを指で押さえた状態で、フィルター内のコーヒー粉を廃棄してください。



- △ 注意
- ・本体にフィルターホルダーを装着したままにしないでください。
 - ・パッキンが損傷し漏れの原因となります。
 - ・コーヒー粉はフィルター内に放置せず、早めにお手入れしてください。そのまま放置すると、カビや雑菌が繁殖する原因となります。

4. 給水タンクの水を捨ててください

給水タンクに水が残っている場合は、給水タンクふたをゆっくりと開けてから水を捨ててください。

- △ 注意
- ・使用直後は給水タンクふたや湯出口に手を触れないでください。
 - ・熱い蒸気が出て、やけど・けがの原因となります。
 - ・電源スイッチや電源コードなど本体外部に水がかからないように注意しながら水を捨ててください。

5. お手入れをしてください

フィルター、フィルターホルダー、カップ受け、給水タンクふた、ステンレスピッチャー、ステンレスピッチャーふた、トレイは、本製品をお使いになるたびに必ず洗ってください。各製品の洗浄方法について「お手入れ」を参照してください。本体が冷めたことを確認してからお手入れをしてください。(⇒p12 参照)

■ 製品の保管

上記のお手入れを行った後、本体、フィルター、フィルターホルダー、カップ受け、スチームノズル、スチームチップが完全に乾燥してから保管してください。

- ⚠ 注意**
- ・長期間で使用にならない場合は、お手入れをした後、完全に乾燥させてから、乾いた場所に保管してください。
 - ・長期間保管した後、再使用する際には、上記と同様のお手入れを行ってください。

お手入れ

本製品は、ご使用のたびに必ずお手入れを行ってください。

お手入れをせずに本製品を使い続けたり、そのままの状態では保管したりすると、本体の故障や、雑菌・カビが繁殖する原因となります。

- ⚠ 注意**
- ・お手入れを開始する前に、電源プラグがコンセントから抜けていることを、必ず確認してください。
 - ・本体などが高温になっていないか必ず確認してください。
 - ・電源コードが損傷していないかを定期的に点検してください。
 - ・使用後はすぐにお手入れを行なってください。
 - ・コーヒー粉が酸化し、次に使用するときにはコーヒーの風味を損なう原因となります。
 - ・食器洗い機・食器乾燥機は使用しないでください。
 - ・食器洗い機・食器乾燥機を使用すると破損・変形の原因となります。
 - ・ドライヤーやアイロンなどを使って乾燥させないでください。
 - ・熱により変形することがあります。
 - ・研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、みがき粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。
 - ・傷がついたり、変色したりする原因となります。

■ 本体

水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で汚れをふき取ってください。

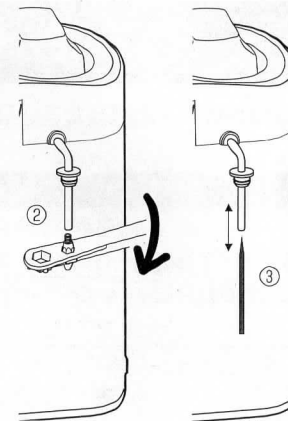
- ⚠ 警告** 本体・電源コード・電源プラグには水をかけたり、水につけたりしないでください。感電、故障の原因となります。

■ フィルター、フィルターホルダー、カップ受け、給水タンクふた、ステンレスピッチャー、ステンレスピッチャーふた、トレイ

- ① 洗剤を使って水で洗ってください。
- ② 水気をふき取り、十分に乾燥させてください。

■ スチームノズル、スチームチップ

- ① スチームノズルを湿らせた布で拭いてください。
- ② 計量スプーンの持ち手側にある、レンチを使ってスチームチップを取り外し、水で洗ってください。
- ③ スチームノズルの内側を針や爪楊枝などで清掃してください。
- ④ 清掃後、水気を拭き取り、十分に乾燥させてからスチームチップとスチームノズルカバーを取り付けてください。



■ 水あかの除去（給水タンク、本体内部）

本製品の内部に鉱質沈着物（水あか）が溜まると、機器の動作に影響を及ぼします。以下の症状がある場合は、水あかの除去を行ってください。

- ・給水タンクに水あかが溜まっている。
- ・飲み物上部に白い沈着物がある。
- ・蒸気が出にくくなる。など

● 給水タンクの水あか除去

- ① 操作ダイヤルが OFF 位置にあり、電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してください。
- ② 給水タンクに水を 350ml 入れ、食酢を大さじ 1 杯入れます。食酢の入れ過ぎにご注意ください。
- ③ 給水タンクに酢液を入れた状態で、一晩置きます。
- ④ 本製品を逆さにし、上部の開き口から酢液を捨ててください。
- ⑤ 給水タンクに水を入れ良くすすぎます。すすぎは、2 回以上繰り返してください。

- ⚠ 注意** 電源スイッチや電源コードなど本体外部に酢液がかからないように注意しながら酢液や水を捨ててください。

● 本体内部の水あか除去

- ① 給水タンク内部の水あか除去を上記の手順で行ってください。電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してください。
- ② 給水タンクに水を 350ml 入れ、食酢を大さじ 1 杯入れます。食酢の入れ過ぎにご注意ください。
- ③ 給水タンクふたを閉めます。
- ④ フィルターホルダーにフィルターを装着してから、本体にセットしてください。取っ手を **II** 位置まで右に回し、付属のステンレスピッチャーをフィルタホルダーの下にセットしてください。
- ⑤ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑥ **III** 位置に操作ダイヤルを回します。
- ⑦ 約 3 分たったらお湯を捨てます。
- ⑧ ステンレスピッチャーに冷水を半分程入れ、スチームノズルの先を冷水に入れます。
- ⑨ ゆっくりと **III** 位置に操作ダイヤルを回します。
- ⑩ 蒸気がすべて出切るのを待ってください。
- ⑪ 操作ダイヤルを OFF 位置まで戻してください。
- ⑫ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体内部に酢液が残らないように、水ですすぎの手順 (②~⑩) を何度か繰り返します。1 度すすぎをすることに、30 分ほどおいて本体が冷めるのを待ちます。

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときは、修理を依頼する前に、下記のことをご確認ください。

こんなとき	原因	対処
操作ダイヤルを回しても動かない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグとコンセントの接続をご確認ください。
	使用直後で粗熱がたまっていませんか？	粗熱が取れるまで約5分お待ちいただいてから再度電源をいれてください。
ドリップができない	給水タンクに水が入っていますか？	エスプレッソの出来上がりに応じた水を給水タンクに入れてください。(⇒p7参照)
	コーヒー粉が入っていますか？	エスプレッソの出来上がりに応じたコーヒー粉を入れてください。(⇒p7参照)
	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターをお手入れしてください。(⇒p12参照)
ドリップ時間が長い	フィルター内のコーヒー粉が詰まっていますか？	プレッサーで押す力を弱めにしてください。(⇒p7参照)
	コーヒー粉の量が多すぎる	コーヒー粉の量を減らしてください。
	コーヒー粉の挽き具合が細かすぎる	やや粗いコーヒー粉を使ってください。
	本体内部に水あかななどが付着していませんか？	水あかななどのよこれがひどくなると、お湯の出が悪くなります。食酢洗浄を行なってください。(⇒p13参照)
湯出口から水が漏れる	給水タンクに水を入れすぎていませんか？	350ml以上入れないでください。
湯出口とフィルターホルダーの取り付け箇所からお湯が漏れる	フィルターの縁にコーヒー粉が付着したままで本体に取り付けていませんか？	フィルターの縁に付着したコーヒー粉を取り除いてください。(⇒p8参照)
	コーヒー粉を入れすぎていませんか？	コーヒー粉を入れすぎると抽出できません。p7の「■コーヒー粉、水の量の目安」を参照してください。
	フィルター内のコーヒー粉が詰まっていますか？	プレッサーで押す力を弱めにしてください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターをお手入れしてください。(⇒p12参照)
	フィルターホルダーが正しくセットされていますか？	フィルターホルダーが正しくセットされているか確認してください。

こんなとき	原因	対処
蒸気の出が悪い/出ない	操作ダイヤルがスチーム☁️になっていますか？	操作ダイヤルをスチーム☁️位置まで回してください。
	給水タンクに水が入っていますか？	給水タンクに水を入れてください。
	スチームノズルが詰まっていますか？	スチームノズルをお手入れしてください。(⇒p13参照)
	給水タンクふたが閉まっていますか？	給水タンクふたが回らなくなるまでしっかり閉めてください。
蒸気が漏れる	フィルターホルダーが正しくセットされていますか？	フィルターホルダーが正しくセットされているか確認してください。
	給水タンクふたが閉まっていますか？	給水タンクふたが回らなくなるまでしっかり閉めてください。

製品仕様

品名	Toffy ホームエスプレッソマシン
品番	K-CM3
本体寸法	約250(W)×280(H)×220(D) mm (フィルターホルダー含まず)
抽出方式	スチーム式
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	625W
給水タンク容量	350ml
重量	約1,560g (ステンレスピッチャーを含まず)
電源コード長	約0.8m
付属品	ステンレスピッチャー(ふた付き)(1個) 計量スプーン(1本) ユーザーズガイド(保証書含む)

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。
※この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。アフターサービスも対応できません。
(This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country)

「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。